

数学 I, 数学 A

1

(1) $x = \sqrt{7} + \sqrt{5}$, $y = \sqrt{7} - \sqrt{5}$ のとき,

$$x^2 - y^2 = \boxed{\langle 1 \rangle} \sqrt{\boxed{\langle 2 \rangle \langle 3 \rangle}}, \quad \frac{x}{y} - \frac{y}{x} = \boxed{\langle 4 \rangle} \sqrt{\boxed{\langle 5 \rangle \langle 6 \rangle}}$$

である。

(2) 実数全体を定義域とする 2 次関数 $f(x) = -x^2 + 2ax + 2a - 4$ の最大値を M とする。ただし, a は実数の定数である。

$M = 11$ となるのは

$$a = \boxed{\langle 7 \rangle \langle 8 \rangle} \text{ または } a = \boxed{\langle 9 \rangle}$$

のときである。

M を最小にする a の値は

$$a = \boxed{\langle 10 \rangle \langle 11 \rangle}$$

である。

(3) 1000 以下のすべての正の整数のうち, 4 の倍数全体の集合を A , 6 の倍数全体の集合を B とする。 $n(X)$ は集合 X の要素の個数を表すものとする。このとき,

$$n(A) = \boxed{\langle 12 \rangle \langle 13 \rangle \langle 14 \rangle}, \quad n(A \cap B) = \boxed{\langle 15 \rangle \langle 16 \rangle}, \quad n(A \cup B) = \boxed{\langle 17 \rangle \langle 18 \rangle \langle 19 \rangle}$$

である。

2

2 次関数

$$f(x) = x^2 - ax - \frac{3}{4}a^2 + 2a + 8$$

のグラフ $y = f(x)$ を C とする。ただし、 a は実数の定数である。

(1) C は点 $\left(\frac{\langle 1 \rangle}{\langle 2 \rangle} a, \langle 3 \rangle a^2 + \langle 4 \rangle a + \langle 5 \rangle \right)$ を頂点とする放物線である。

(2) C を x 軸方向に 3 だけ平行移動すると放物線 $y = x^2 - 8x + b$ に重なるとする。ただし、 b は実数の定数である。このとき、

$$a = \langle 6 \rangle, \quad b = \langle 7 \rangle \langle 8 \rangle$$

である。

(3) C が x 軸と異なる 2 点で交わっているとする。

このとき、 a のとり得る値の範囲は

$$a < \langle 9 \rangle \langle 10 \rangle, \quad \langle 11 \rangle < a$$

である。 C と x 軸の交点を A, B とすると、 $AB = 2$ となるのは

$$a = \langle 12 \rangle \pm \sqrt{\langle 13 \rangle \langle 14 \rangle}$$

のときである。

(4) $-1 \leq x \leq 2$ でつねに $f(x) < 0$ となるような a の値の範囲は

$$a < \langle 15 \rangle \langle 16 \rangle, \quad \langle 17 \rangle < a$$

である。

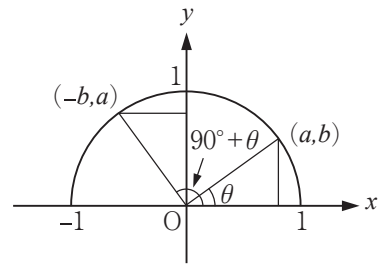
3

- (1) 右の図を参考にして、次の $\langle 1 \rangle$, $\langle 2 \rangle$ に適するものを、下の選択肢から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。

$0^\circ < \theta < 90^\circ$ のとき、

$$\sin(90^\circ + \theta) = \langle 1 \rangle, \quad \cos(90^\circ + \theta) = \langle 2 \rangle$$

である。



$\langle 1 \rangle$, $\langle 2 \rangle$ の選択肢

- ① $\sin \theta$ ② $-\sin \theta$ ③ $\cos \theta$ ④ $-\cos \theta$

- (2) 三角形 ABC において、

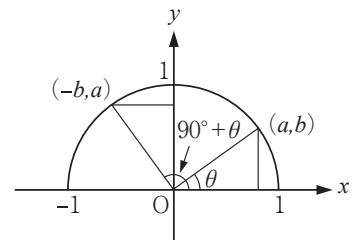
$$AB = 5, \quad AC = 6, \quad \cos \angle BAC = \frac{3}{5}$$

である。AC を 1 辺とする正方形 ACDE を三角形 ABC の外部につくる。

- (i) 辺 BC, 線分 BE の長さは

$$BC = \langle 3 \rangle, \quad BE = \sqrt{\langle 4 \rangle \langle 5 \rangle \langle 6 \rangle}$$

である。



- (ii) 三角形 ABC, ABE, BCE の面積をそれぞれ S_1, S_2, S_3 とおくと、

$$S_1 = \langle 7 \rangle \langle 8 \rangle, \quad S_2 = \langle 9 \rangle, \quad S_3 = \langle 10 \rangle \langle 11 \rangle$$

である。

4

2個のさいころを同時に投げる試行を T とする。

(1) 試行 T を1回行ったとき、2個のさいころの目について

$$\text{積が奇数になる確率は } \frac{\langle 1 \rangle}{\langle 2 \rangle},$$

$$\text{和が5になる確率は } \frac{\langle 3 \rangle}{\langle 4 \rangle},$$

$$\text{積が5以上になる確率は } \frac{\langle 5 \rangle}{\langle 6 \rangle}$$

である。

(2) 試行 T を繰り返し、2個のさいころの目の積が奇数になるか、試行が5回に達したときに試行を終了する。このとき、

$$\text{試行を3回行って終了する確率は } \frac{\langle 7 \rangle}{\langle 8 \rangle \langle 9 \rangle},$$

$$\text{試行を5回行って終了する確率は } \frac{\langle 10 \rangle \langle 11 \rangle}{\langle 12 \rangle \langle 13 \rangle \langle 14 \rangle}$$

である。

設問は以上です。